

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

市制記念多摩川花火大会の開催時期について

資 料 市制記念多摩川花火大会の開催時期について

経済労働局

平成30年3月12日

市制記念多摩川花火大会の開催時期について

市制記念多摩川花火大会について、昨今の夏季における集中豪雨や落雷の多発を踏まえ、来場者の安全・安心を最優先とし、比較的天候が安定している10月の秋季開催へ変更する。

1 新年度の概要

- (1) 名称 第77回川崎市制記念多摩川花火大会
- (2) 開催日時 平成30年10月13日(土)
 打上げ 18時～19時
 (世田谷区たまがわ花火大会と同時開催)
 ※日没時間が早い為、前回より1時間繰り上げ
- (3) 場所 多摩川河川敷(二子橋～第三京浜道路)



平成28年度

2 開催時期変更の経緯

(1) 平成28・29年度の状況

平成28年度：8月20日(土) 19時から20時
 台風の同時発生による大雨により、当日午前中に、大雨警報が発表され、川崎会場観覧席が冠水するなど、開催が危ぶまれた。

平成29年度：8月19日(土) 19時から20時
 急激な積乱雲の発達による雷雨により、開会式の70分前の17時20分に中止を決定した。



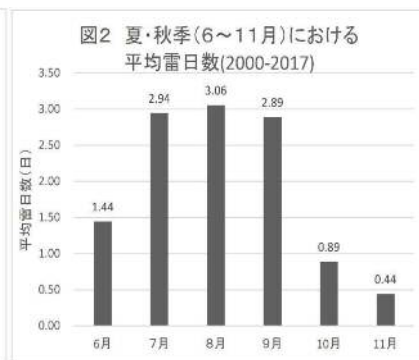
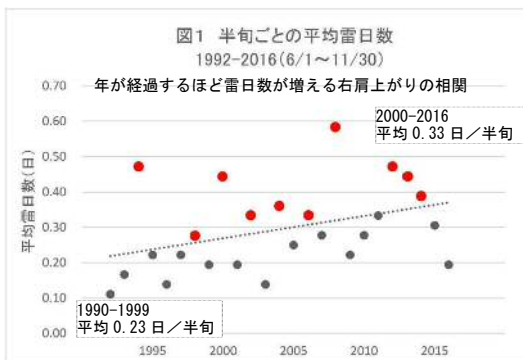
雷雨の様子(平成29年度)

(2) 近年の気象状況

ア 落雷

雷日数は増加傾向にある。(図1)

夏季でも梅雨が終わる7月から9月にかけて、発生頻度が高い。(図2)



半旬：気象庁の予報用語で連続する5日間のこと。
 1～5日=1半旬、6～10日=2半旬… のように用いる。

イ 降水量

9月中旬から10月上旬は、秋雨前線が本州に停滞し降水量が多くなる。

ウ 火災予防

10月下旬ごろから草木が枯れ始めるので、花火による火災発生の恐れがある。同時に、このころから、木枯らしが吹き始め、花火の打ち上げに支障を来す可能性がある。

(3) 開催時期変更の決定

上記の状況から、夏季開催は観客の安全を確保することや円滑な開催運営が困難であると判断し、共同主催者である川崎市観光協会・高津観光協会及び同日開催している世田谷区や交通管理者である警察、河川敷内の体育施設の利用団体、鉄道・バス事業者等と協議・調整を行った。

また、高津区役所や世田谷区役所との協議により、地域におけるイベント等との重複にも配慮し、平成30年度は、10月13日(土)に開催するものと決定した。

次年度以降については、毎年の開催状況等を踏まえ、決定する。

3 市民等への周知

- (1) ホームページ掲載 平成30年4月1日(世田谷区と同時公開)
- (2) 市政だより 平成30年5月1日(「区のおしらせ『せたがや』」と同日掲載・予定)

このほか、例年も行っている広報掲示板や本市提供のラジオ放送など、様々な媒体を活用し、市民や周辺地域の住民等に対し、開催時期変更の周知に努める。

(参考) 平成28・29年度 市制記念多摩川花火大会当日の会場の様子



冠水して池のようになった協賛席(平成28年度)



排水ポンプによる協賛席の排水(平成28年度)



第三京浜道路の橋下に避難する観覧者(平成29年度)



突風で被害を受けた露店(平成29年度)